

JPR資本収益性/資本コストレポートのご案内

資本収益性
資本コスト
分析に特化

- 創業2003年の独立系証券アナリストレポート老舗調査会社、ジェイ・フェニックス・リサーチ(株)作成
www.j-phoenix.com
- 創業以来、資本収益性/資本コスト、ROE,ROIC,WACC等の分析調査に特化
- 全上場企業のROE,ROIC,WACCを計算
- サンプルは以下URL
https://j-phoenix.com/wp-content/uploads/2023/10/roic_wacc_report_7921_TakaraCompany_20231020.pdf

手間いらずで
すぐに
全世界
にアピール

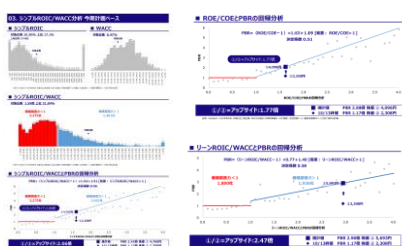
- オーダー後2週間で和文・英文完成して提供
資本コストレポート発注と記載の上 info-jpr@j-phoenix.com にメール
- すべて開示データから作成。取材負担ゼロ。
- 自社WEBサイト掲載、投資家への配布であるべき客観的なPBRをアピール
- Yahoo!ファイナンス、Bloomberg、トムソンロイター、FactSet、Alpha-Sence、日経Quick、IFISで日本語/英語で全世界配信、ROIC/WACC分析に詳しいグローバル投資家にリーチ

株式会社 TAKARA & COMPANY(7921)の例 2023年10月20日発行

ターゲット株価/PBRを定性的、定量的かつ客観的分析により提示。「資本コストや株価を意識した経営」の実践にすぐに活用可能

定性及定量的にアピール

ROE,ROIC,資本コストで株価を統計学的に分析



比較類似会社分析



WACCの詳細パラメーター

ターゲット株価・PBRを裏付ける
10年予測も併せて提供



毎週3,800社を分析するジェイ・フェニックス・リサーチの知見による資本コストを活用可能

ビジュアルで分かりやすい表・グラフ、個人投資家・機関投資家の双方にアピール

ターゲット株価、ターゲットPBRを明示。

対象企業の株価は現状株価2,308円の約2.1倍の4,881円

対象企業について: 17年7月2日、12月12日、4月8日に計3回、投資家の対象会社に対する勧誘活動から、勧誘活動が完了した。この勧誘活動の結果、現状株価は、10月13日現在、2,308円(10月13日現在)から4,881円(10月13日現在)に上昇した。

対象企業について: 本分析の内容を1頁で活用する価値は大いである。

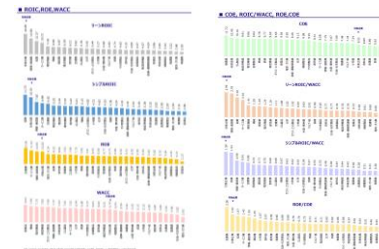
資本コスト	WACC	ROE	ROIC	株価
18.58%	6.47%	2.93%	2.90%	2,308円
10.50%	6.47%	1.59%	4.70%	2,068円
10.50%	6.52%	1.61%	3.08%	4,999円
10.50%	6.52%	1.61%	1.77%	1,777円

ターゲット株価・PBR

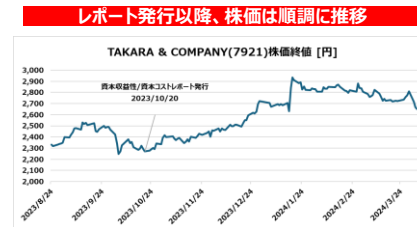
余剰現金を取り除いたアピール度の高いROICも分析

項目	ROIC	FY20/5	FY21/5	FY22/5	FY23/5	FY24/5
[18] 総資産	32.20%	26.40%	30.97%	30.92%	33.44%	
[19] 平均流動性	3.30%	3.09%	3.16%	3.44%	3.60%	
[20] その他流動性	5.06%	5.10%	6.21%	6.28%	6.33%	
[21] 有形資産	5.04%	5.03%	6.52%	5.97%	6.94%	
[22] ネット固定資産	2.41%	2.52%	2.55%	3.20%	2.97%	
[22]÷[11]=	12.6%	10.4%	11.3%	13.7%	10.3%	
[24] ROIC	388	2,739	2,529	2,320	2,110	
[25] 有形資産	2.09%	11.1%	10.0%	8.4%	7.3%	
[26] 有形負債	2,157	2,044	3,053	2,583	2,756	
[27] 有形負債	0	0	0	0	0	
[28] 有形負債	0	0	0	0	0	
[29] 有形負債	0	-5	-3	5	17	
[30] ネット固定資産	6,746	9,202	9,431	9,438	9,090	
[31] ネット固定資産	35.3%	37.1%	37.2%	34.2%	31.6%	
[32] ネット固定資産	8,545	14,323	14,810	15,548	14,177	
[33] ネット固定資産	49.9%	58.6%	58.5%	56.4%	49.2%	
[10]÷[13]=	10.2%	12.9%	16.0%	16.9%	19.0%	

業界別の平均値との比較



株価推移



資本収益性や市場評価に関して、取締役会に提出する「現状の分析・評価」の資料として最適